

平成22年度

学校法人昌賢学園

事業報告書

学校法人昌賢学園

群馬医療福祉大学大学院

群馬医療福祉大学

群馬医療福祉大学短期大学部

群馬社会福祉専門学校

群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校

群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園

平成 22 年度学校法人昌賢事業報告書

1. 法人の概要

1. 法人の名称 学校法人 昌賢学園
2. 事務所の所在地 群馬県前橋市元総社町 1 5 2 番地
3. 設置する学校
 - ①群馬医療福祉大学大学院 社会福祉学研究科
 - ②群馬医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科
 - ③群馬医療福祉大学看護学部 看護学科
 - ④群馬医療福祉大学短期大学部 介護福祉学科
 - ⑤群馬社会福祉専門学校 社会福祉専門課程 社会福祉士通信課程
社会福祉学科 福祉保育学科 介護福祉専攻科
 - ⑥群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校 医療福祉専門課程
理学療法学科 作業療法学科
 - ⑦群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園

4. 学生園児・園児等の数

学部・学科名	入学定員	収容定員	学生・園児数
群馬医療福祉大学大学院 社会福祉学研究科	10名	25名	15名
群馬医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科	130名 編入50名	520名 100名	563名
群馬医療福祉大学看護学部 看護学科	80名	320名	96名
群馬医療福祉大学短期大学部 介護福祉学科	80名	160名	156名
群馬社会福祉専門学校社会福祉専門課程 社会福祉学科	50名	50名	15名
福祉保育学科	50名	100名	66名
介護福祉専攻科	80名	80名	26名
通信課程	200名	400名	146名
群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校 理学療法学科	40名	160名	98名
作業療法学科	40名	160名	44名
群馬社会福祉大学附属鈴蘭幼稚園	90名	280名	98名

5. 役員

理 事	8 人
監 事	2 人
評議員	19 人

6. 教職員の状況

(平成22年5月1日)

	人員数
大学教員 (社会福祉学部)	37名
兼任講師	39名
大学教員 (看護学部)	21名
兼任講師	13名
短期大学部教員	12名
兼任講師	11名
専門学校教員	14名
兼任講師	39名
医療福祉専門学校教員	12名
兼任講師	29名
幼稚園教員	7名
事務職員	37名

7. 土地及び建物の状況

① 土地の状況

(単位:㎡)

	群馬医療福祉大学	短期大学部	群馬医療福祉専門学校	附属鈴蘭幼稚園	合 計
校 地	18,451.00	15,360.39	2,413.44	3,621.01	39,845.84
合 計	18,451.00	15,360.39	2,413.44	3,621.01	39,845.84

② 建物の状況

(単位:㎡)

	群馬社会福祉大学	短期大学部	群馬社会福祉専門学校	附属鈴蘭幼稚園	合 計
校 舎	10,964.93	4,943.00	2,282.42	1,890.12	20,080.47
合 計	10,964.93	4,943.00	2,282.42	1,890.12	20,080.47

③ 土地建物借用状況

(単位:㎡)

	法 人	群馬医療福祉大学	リハビリ専門学校	看護学部	合 計
校 地				26,222.00	26,222.00
校 舎			4,744.38	11,477.00	16,221.38

駐 車 場		4,699.28			4,699.28
合 計		4,699.28	4,744.38	37,699.00	47,142.66

2. 事業報告

教務関係活動報告

①平成22年4月 看護学部開設

○学部、学科等の名称

群馬医療福祉大学 看護学部 看護学科

○定員

入学定員80名 総定員320名

○学校の位置

群馬県藤岡市藤岡787番地

○目的

少子高齢社会で、ますます充実が望まれる看護の分野において、優れた学識と技術と倫理的判断力を身につけ、健康と福祉と地域に主体的貢献のできる、人間性豊かな看護専門職者の育成を目的とする。

②平成22年4月 大学名称変更

変更前		変更後
群馬社会福祉大学 英訳名 (Gunma University of Social Welfare)	→	群馬医療福祉大学 英訳名 (Gunma University of Health and Welfare)

群馬社会福祉大学に看護学部看護学科を設置することに伴い、医療分野の人材養成も行うことになるため、大学名称に「医療」を付け、大学名称と実際の教育内容をより近いものにするための変更である。

③大学名称変更に伴うその他の変更

変更前		変更後
群馬社会福祉大学大学院 群馬社会福祉大学短期大学部 群馬社会福祉大学附属医療福祉専門学校 群馬社会福祉大学附属鈴蘭幼稚園	→	群馬医療福祉大学大学院 群馬医療福祉大学短期大学部 群馬医療福祉大学附属リハビリ専門学校 群馬医療福祉大学附属鈴蘭幼稚園

入試広報活動報告

1. 高校訪問
2. 進学ガイダンス参加
3. 高等学校教諭対象説明会

- 4.オープンキャンパス開催
- 5.ホームページ
- 6.WEB 媒体
- 7.進路情報誌の掲載
- 8.出前授業
- 9.新聞広告(主に上毛新聞)
- 10.FM GUNMA

大学(社会福祉学部、看護学部)・短期大学部の募集活動では一定の志願者を確保することができたが、学部により一部定員に達しないところもあった。看護学部では大幅な志願者増、短期大学部では介護福祉士国家試験制度へ移行する学年であったことから、大幅な志願者減となった。(ただし、国家試験は制度変更により無試験が継続される)

リハビリ専門学校においては、オープンキャンパスにおいて施設見学(バスツアー)を取り入れ、まずオープンキャンパスでの集客を図ることに力を注いだ。この企画が成功し、理学療法学科では定員を上回る志願者を確保することができた。今後は、作業療法学科の募集が課題となりそうである。

社会福祉専門学校は、附属幼稚園とタイアップしたオープンキャンパスを企画し、子ども分野に興味の高校生への囲い込みを図り、定員を確保することができた。

今後、リハビリ専門学校の学部昇格も視野にいれながら、地道な広報活動を展開し、志願者獲得に結びつけていきたい。

全入時代を向かえ、経営が難しくなる学校法人がますます増えるだろう。昌賢学園では学校の特色、他校にない魅力を如何に打ち出していけるかが大きな課題である。そのためにも昌賢学園の全教職員が一丸となって、様々な問題に対し企画検討し、それを実行、実現する努力をしていくことが必要であると痛感します。

オープンキャンパス参加者数

	22年度参加者数	前年度参加者数
前橋キャンパス 社会福祉学部短期大学部	665	883
藤岡キャンパス 看護学部	500	251
リハビリ専門学校	322	364
社会福祉専門学校	223	207

※ 看護学部同時開催のため看護学部希望者もカウント

入学者状況

	定員	入学者数	前年度入学者数
大学 社会福祉専攻	80名	76	76

大学 子ども専攻	50名	52	54
大学 看護学科	80名	96	96
短大 介護福祉学科	80名	66	90
リハビリ専門学校 理学療法学科	40名	41	44
リハビリ専門学校 作業療法学科	40名	24	32
専門学校 福祉保育学科	50名	51	33
合計	420名	406名	430名

就職関連活動報告

- ◇ 学生一人ひとり納得のいく就職が出来るように、きめ細かな就職指導と求人先資料を豊富にそろえ、実践的なアドバイスも交え、現場で即戦力になるためのサポートを実施し、1学次から社会福祉施設でのボランティアに積極的に取り組むことを進めることで、進路・就職に対する動機付けを行っています。
- また、学生のキャリア向上、就職指導の一環として行う支援講座・研修は、変化する社会情勢の中でも十分な就職活動が行えるようバックアップ体制をしいていて、資格対策に関しては学生を支援する資格対策講座を数多く開講しています。この資格対策講座の受講者、各種資格試験の合格者は年を追うごとに増加しており、公務員(公立保育園を含む)に現役生7名が合格するとともに、教員採用試験の合格者は2名となっています。
- ◇ 就職状況は、就職希望者に対して99.7%、卒業予定者に対しては99.4%となり、短期大学部においてはここ数年就職率100%が続くという高い数字となっています。
- ◇ 就職場所は、老人関係施設40%、身体障害者・知的障害者等の施設25%、医療ソーシャルワーカー・精神保健福祉士等の病院10%、社会福祉協議会・社会福祉事業団等の福祉関連機関団体3%、保育園・幼稚園に15%といった方面へ就職しており、1割が公務員、一般企業への就職となっています。
- ◇ 就職率としましては関東地方の大学の中では4位、全国でも20位といった卓越した実を誇っております。

3. 財務の概要

平成22年度施設設備の整備状況

施設整備の主な整備状況

大学	構築物	8,079,500円
	その他の機器備品	1,124,000円
	図書	5,872,661円

	車輛（6台）	25,492,925円
	ソフトウェア	9,450,000円
専門学校	図書	1,641,406円
	車輛	500,000円

平成22年度財産目録・貸借対照表・資金収支計算書・消費収支計算書・監事並びに公認会計士の監査報告書・資金収支の状況（経年推移）・消費収支の状況（経年推移）・貸借対照表（経年推移）・財務比率（経年推移）は別掲の通りである。

平成22年度は医療福祉大学看護学部の開設年度に当たり、前年度において大学の施設設備整備状況は全面的に見直され完備されたので新たに大きな施設設備関係の支出は少額で済み資金の充実に回すことができた。なお、看護学部は開設年度ではあるが入学定員を的確に確保することができ、将来的な看護学部学生確保の見込みが推測される。

また、主たる経常収入としての学生生徒等納付金比率はリハビリ専門学校3年目、看護学部が1年目ではあるが数年安定的に推移している。経常経費依存率も数年平均的に100%を上回り、学生生徒に対する教育的還元は行き届いている。学部増設等が続いたことから消費収支超過額が数年続いているが看護学部完成年度の前年度からは消費収入超過額に確実に改善される見通しである。資金的にも外部借入金等が少ないので負債償還に窮することなく計画的な財政運営を实践できる傾向である。平成22年度は大学、短期大学部の第三者評価を受審したが、財務状況は良好、大学の教育研究目的を達成するために必要な財政基盤を有し、収支のバランスのとれた運営がされているとの評価もあった。